



2023 年 5 月 12 日

各位

会社名 朝日放送グループホールディングス株式会社

代表者名 代表取締役社長 沖中 進

(コード番号 9405 東証プライム市場)

問合せ先責任者 執行役員 グループ戦略局長 野下 洋

TEL 06-6458-5321

朝日放送グループ中期経営戦略 2021-2025 NEW HOPE 2nd STAGE

<ローリングプラン 2023>の策定について

当社は、朝日放送グループ中期経営戦略 2021-2025 NEW HOPE 2nd STAGE
<ローリングプラン 2023>を策定しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

中期経営戦略 2021-2025 NEW HOPE 2nd STAGE <ローリングプラン 2023>について

当社を取り巻く事業環境の更なる変化に対応しながら、グループ全体の意識を高め、組織の成長を加速させるため、2021 年 5 月に発表した「中期経営戦略 NEW HOPE」のスタートから 2 年間に実施してきた施策の成果・課題を踏まえて、後半 3 年間の方針と取り組むべき施策を「2nd STAGE」 としてまとめました。詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

以上

中期経営戦略 2021-2025

「NEW HOPE」 2nd STAGE

〈ローリングプラン 2023〉

2023.5.12

朝日放送グループホールディングス株式会社

NEW HOPE 2021-2025 2nd STAGE の狙い

アフターコロナ、世界情勢不安など
更なる変化の時代へ

コロナ禍をきっかけとした
社会/業界の大変革期の始まり

2021年5月
中期経営戦略
NEW HOPE 発表

2023年 スタート
NEW HOPE「2nd STAGE」

2025年のその先へ

「中期経営戦略 NEW HOPE」のスタートから2年間に実施してきた施策の成果・課題を踏まえ、後半3年間の方針と取り組むべき施策を「2nd STAGE」としてまとめ、更なる変化の時代に対応しながらグループ全体の意識を高めて、組織の成長を加速させる。

創る、届ける、「新しいシアワセ」を

社会・生活を豊かにするコンテンツを「創り」「届け」、
それぞれの人にそれぞれのシアワセを感じてもらえる「総合コンテンツ事業グループ」に。

〈重点目標〉

- ① グループ全体の人材力強化と多様化の推進
- ② 放送のチカラの活用と、グループ連携の強化・深化
- ③ データ利活用体制の構築とデジタル技術の活用促進
- ④ 地域創生と社会課題の解決に資する事業の創造



2025年度までに**連結売上高1,000億円**を達成

「NEW HOPE」 2nd STAGE

グループ最大の強みは
「多彩なコンテンツ」と「コンテンツを創る人材」
強みを最大化し、更なる成長を目指す

業界・自社

- メディア・コンテンツ環境の変化
- 顧客ニーズの変化
- ターゲットのグローバル化
- 人口減によるマーケット縮小

テクノロジー

- デジタル技術（AI、XR、IoT、ロボティックス等）の飛躍的進化
- データ駆動型社会の到来
- デジタルツインの未来

社会

- 世界情勢不安の長期化
- SDGs 達成の意識向上
- 新しい生活様式
- 少子高齢化の加速
- 地方経済、地域力の減退

「コンテンツの多様化と高品質化の必要性」と「メディアグループとしての社会的役割」増

事業の変革へチャレンジ・意識改革

会社の垣根を超え、多様な人材が集う企業グループとなり、より多様なコンテンツでステークホルダーの皆さまのシアワセ*を届ける

* 視聴者・リスナー・消費者の皆さまへ「Happiness」を、地域の皆さまへ「Well-being」を、グループの皆さまへ「Good Living」を。

NEW HOPE 2nd STAGE 重点施策

人材力強化と多様化

ABC@Colorful 宣言

新規人材採用・登用

研修制度の充実

グループ連携の強化

タウンミーティング

各社間の人事交流促進

グループ内協業・企画の創出

施策① 人材交差点構想

DX認定事業者 デジタルリテラシー向上

CDPによるデータ利活用 デジタルセールス開始

データとデジタル技術によるグループ事業支援

施策② DXによるビジネス創造

データの利活用・デジタル技術

地方自治体・民間企業との協業・対話スタート

ABCグリーン宣言

SDGs 関連ベンチャーに
投資するファンド設立
(ソーシャルインタラクションデザインファンド)

施策③ なにわ筋・中之島 ART ARC 構想

地域創生と社会課題解決

※白ベース＝2年間で実施した施策、オレンジベース＝2ndSTAGEの重点施策

① コンテンツ創造の源泉は人… 才能が集まる「人材交差点」へ より多様に、より自由にコンテンツ、ビジネスのアイデア創造、マネタイズ展開の拡充を加速

「個の力」と「全体の力」を最大化。才能が行き交うグループへ



ABC カレッジ創設

- グループ内外の「知」を集め共有しあうことで学びあい、語りあい、繋がりあう場を創設。発想力豊かな人材を育てていく
- ABC サロンで社内外のビジネスネットワーク強化
- グループ交流会の活発化

Who's Who 開設

- グループ内人材のデータバンクを開設し、「人材力」を最大活用

プロデューサー、クリエイター等が所属する企業との協業促進

② DX推進から実践へ、DXによるビジネス創造

DXによってデータやデジタル技術を基本としたビジネスデザインに繋げていく

DX創造

データマーケティングによるビジネス創造

- CDP等を中心とするグループのデータ利活用を深化
- グループ各社の事業をデータ駆動型にシフトさせていく

デジタルセールスによるビジネス創造

- デジタル商材の新たな商流を確立
- デジタルセールス × 事業マーケティングによるグループ事業の拡大

デジタル技術によるビジネス創造

- 新しい技術シーズの創出と事業支援
- オープンイノベーションによる事業領域の拡大支援

人材育成によるビジネス創造

- グループの高度なデジタル人材育成
- グループ人材のDX化
→ 情報リテラシー向上とリスクリング

DX推進

メディア研究 デジタルマーケティング

CDP構築 技術研究開発 デジタルリテラシー

情報インフラ整備 セキュリティ RPA等による業務省力化

ABCグループの
DX基盤

NEW
HOPE

③ なにわ筋・中之島 ART ARC構想と地域の賑わい創出 クリエイト集団として、地域の活性化へ貢献し、新ビジネスを創出する



【なにわ筋・中之島界隈の特徴】

- 「アートと健康」「にぎわいづくり」をテーマにした開発進む
- 万博メイン会場や大阪の中心部へアクセス良好



【グループの創る、届ける力】

- メディアの力でエリアに関係する企業・団体・アーティストを応援
- 本社に交流拠点を開設等



**なにわ筋・中之島界隈を
アート・エンターテインメント・
ディストリクトに！**

【本社周辺に第2の創造工場を】

「コンテンツ制作拠点」と
「地域活性化のための情報発信拠点・文化交流拠点」の
機能を持つ**第2の創造工場**を
創出するため、
本社屋周辺の再開発を計画

- M&A やコーポレート・ベンチャー・キャピタル (ABC ドリームベンチャーズ) などを活用し、コンテンツ／ライフスタイル各事業の戦略に沿って、コンテンツ／ライフスタイル領域の機能・資源を獲得する
- DX によるビジネス創造を目指し、デジタル領域への投資を強化する
- 従業員一人ひとりの知識・スキルを最大化し、社内外の才能が行き交うグループ（人材交差点）を目指し、人的資本投資を強化する
- 社会貢献に資する事業創出のための投資を行う

- 投資にかかる資本コストを意識した経営資源配分を行うことで事業ポートフォリオを最適化する。
- 中期経営戦略実現のための継続的な成長投資を行うことで、総合コンテンツ事業グループとしての企業価値向上を目指す。
- 財務の健全性と財務レバレッジの適切なバランスを維持するために、最適な資金調達手段及び資金効率の最大化を目指す。

中期経営戦略

ローリング数値（定量目標）

重点目標（定量）

2025 年までの数値計画（ローリングプラン 2022）

単位：百万円

	2021年度 (実績)		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
グループ連結	85,100	4,203	91,000	4,000	94,000	4,500	97,000	5,000	100,000	5,700



ローリングプラン 2023

	2021年度 (実績)		2022年度 (実績)		2023年度		2024年度		2025年度	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
グループ連結	85,100	4,203	87,028	2,594	90,000	2,500	94,000	3,900	100,000	5,700

重点目標（定量 セグメント別）

2025 年までの数値計画（ローリングプラン 2022）

単位：百万円

▼ 報告セグメント	2021年度 (実績)		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
放送・コンテンツ	71,348	3,654	75,200	3,300	77,000	3,200	79,300	3,600	81,000	3,800
ライフスタイル	13,751	874	15,800	1,000	17,000	1,600	17,700	1,700	19,000	2,200

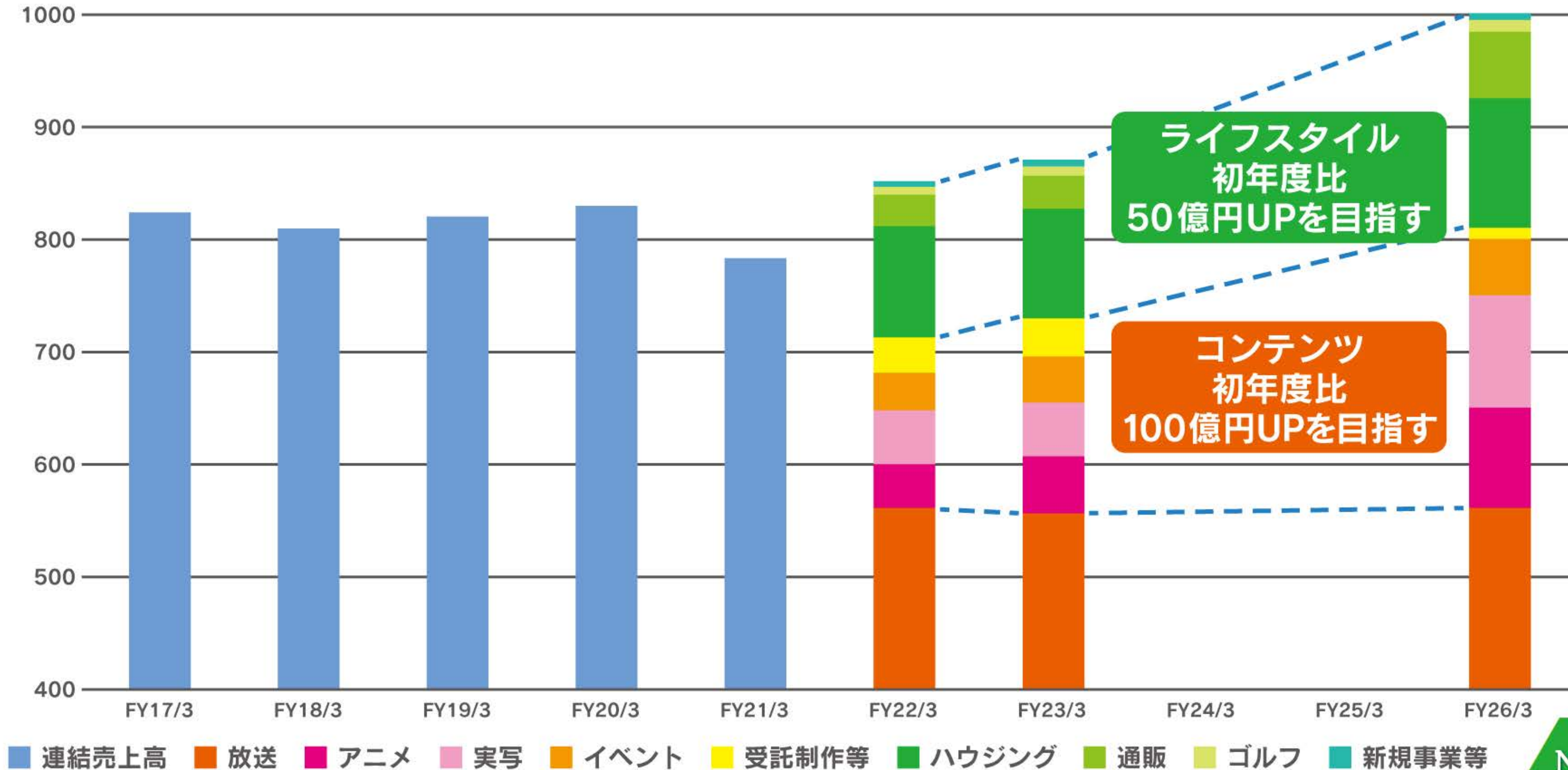
ローリングプラン 2023

▼ 報告セグメント	2021年度 (実績)		2022年度 (実績)		2023年度		2024年度		2025年度	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
放送・コンテンツ	71,348	3,654	72,967	2,602	75,400	2,300	77,700	3,300	81,000	4,500
ライフスタイル	13,751	874	14,061	433	14,600	600	16,300	1,050	19,000	1,650

注) 営業利益についてはセグメント外（表外）で、「その他調整額」として
2023年度 △4 億円、24-25年度 △4.5 億円を見込んでおります

2025年度の姿（定量目標）

単位：億円



中期経営戦略 NEW HOPE のスタートから 2 年。劇的なテクノロジーの進歩で、私たちの生活や価値観も大きく変わろうとしています。そして最終年度である 2025 年、更にその先には、想像を超えるような変化が待ち受けているでしょう。

そんな時代でも、私たちは「変化に対応する創造集団」であり続け、人々に「シアワセ」を届けるコンテンツ事業グループであり続ける、これこそ私たちのミッションです。

また当社グループのコアであるテレビ・ラジオは、人々や社会に優しいインクルーシブな存在であり続けます。これは当社が社会と共にサステナブルに発展していくための道しるべでもあります。

その実現に欠かせないのは一にも二にも「人」です。社内外、国内外から人が集まり自由に往来する、当社はそんな多様性に富んだグループでありたい。広い視野と様々な視点で、考え、創造し、そして社会課題に対しても失敗を恐れずチャレンジしていきたい。

まずは「人在」として人が在り、「人材」として大きな力となり、さらに「人財」として、会社の、ひいては社会の宝となる。当社は「人」を成長の源泉として、既成概念に捉われず、自由に、大胆にトランスフォームし続けます。

代表取締役社長 沖中 進

本資料に関するご注意

中期経営戦略については、将来の見通しや予測等に基づく記述が含まれています。そのため、様々な要因により、将来における実際の業績が異なる結果となる可能性があることをご了承ください。

会社情報サイト

The logo for Asahi Broadcasting Corporation (ABC), consisting of the letters "ABC" in white on an orange rectangular background.

<https://corp.asahi.co.jp>

これまでの決算短信、有価証券報告書、統合報告書（コーポレートレポート）、サステナビリティレポートなどを掲載し、IR サイトの充実にも努めております。ぜひご覧下さい。